

創立148周年



学校だより
はえ
南風の子

中種子町立
南界小学校
令和4年3月18日(金)

1年の締めくくりに

校長 安満 浩之

令和4年3月24日、5名の子供たちが南界小学校を卒業生として巣立って行きます。今年の卒業生は岩崎日歩さん(新町)、黒木星良さん(本村)、提恭介さん(中田)、提侑那さん(本村)、園田斗空さん(田島)です。保護者の皆様からお祝い申し上げますとともに、御支援、御指導に関わってくださった多くの皆様方にも厚くお礼申し上げます。

小学校生活6年間で学んだこと、教えられたこと、気付いたことなどそれらがすべてこれからの生き方につながっていくと信じています。

卒業は、新たなスタートでもあります。卒業生が自分の夢に向かって、一步一步努力を重ね、大きな壁を乗り越え、夢を実現していくことを期待しています。1年生から5年生にとっても1年を締めくくる大切な修了式があります。この1年を振り返り、自分の成長に自信をもつとともに、次の学年へ向けてしっかりと目標をもってもらいたいと思います。そして、「やさしく・かしこく・たくましく」の校訓のもと、次の学年へ新しいスタートをきってほしいと願っています。

保護者・地域の皆様には、この1年、教育活動の推進にあたり御理解と御協力をいただき本当にありがとうございました。今後とも子どもたちのより良い成長に御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



6年生を送る会

子供をかえる、ほめ方の7原則

- 1 子どものありのままをほめる。
(期待通りの結果は出せなくてもがんばりを認めましょう。)
 - 2 気前よくほめる
(そんなのできて当たり前と思っても、ほめ言葉をケチってはいけません)
 - 3 言動を具体的にほめる
(漠然としたほめ言葉よりも具体的な方が、よく見ていると思います。)
 - 4 タイミングよくほめる
(よい変化があったらすかさずほめましょう。後でと思うと忘れてしまいます。)
 - 5 結果だけでなくプロセスもほめる
(努力したことも認めてあげるとうれしいと思います。)
 - 6 続けさせたいことをほめ続ける。
(行いは続けることで、習慣となり、その人の徳になります。)
 - 7 愛情をもってほめる。
(言葉は使う人の心の在り方によって、相手への伝わり方が違います。)
- ※ 学年末、その子なりの伸びや成長を再度見つめ直し、温かい声をお子さん一人一人に届けることで、子供の生きる力を育てていきましょう。